

今週のズバリ こう見る

Analysis

年末年始にかけ一段高期待
自民勝利で円安が進行するGOLD
金

(株)コムテックス
東京支社 支店長
第二支店 押本 孝幸氏

東京金は為替の動向に大きく左右される展開が予想される。衆議院選挙は、大方、自民党の勝利が確定的で、いわゆる『アベノミクス』による円安・株高が期待されている。

段の金融緩和発言に、日銀の白川総裁はことごとく反論したもの、どうやら安倍総裁に歩があるとマーケットは判断している様子。『安部円安』も選挙前までと見る向きも多いが、これがどこま

で続くのが焦点で、金価格の動向を左右すると見てよからう。これに並行するよう、米国は年末にかけて、『財政の崖』問題に直面する。現在、米政府は、富裕層への増税案を進めているものの、野党・共和党は反対論を提示。妥協案をまとめられなければ、減税打ち切りによる景気低迷は避けられない状態にあり、些細なことでもドルが売られる状況が想定される。

ニューヨーク金は、11月23日に49万枚台の出来高を記録、期近が1トロイオンス当たり1,700ドルで抵抗を強めているなか、米国の『財政の崖』に対する不安から、安全資産である『金買い』継続と判断。国内は、総選挙後の強硬な金融緩和や日本国債格下げの可能性もあり、国内の『円安進行』はまだ止まらない。このシナリオで、年末から年明けに向けて、東京金的一段高を期待。

OIL
原油

ニューエッジジャパン(株)
商品デリバティブ
営業部長
杉谷 誠氏

ニューヨーク原油価格は米政治ファクターを反映する動きが続いている。ファンダメンタルズにも強く影響する。

需要期を迎えており、今後、北米や欧州で石油需要が増加する可能性がある。

最近のニューヨーク金の動きだが、『財政の崖』を意識しながらも、その方向が見定めにくい。ため、チャートは揉合模様となっているように見える。ただ、『財政の崖』問題で一波乱あろうが、それも一時的にとどまるのではない。

950円を予想している。これは為替が1ドル85円であることを前提にしたもので、為

る。26ヵ月平均の移動平均線が07年以来、5年ぶりに円安サインを出しており、むしろ、

円安メリット大きい東京金
突っ込み場面を買い狙う!!GOLD
金

岡地(株)東京支店
投資相談部
千葉 純平氏

替に関してはこれでも控えめな予想だ。

これから本格的な円安に入っていくのではないかと。為替相場が1

安の方向に歩んでい

ドルの円安になると、

ニューヨーク金は1,700ドルの場合、金の輸入コストは1グラム当たり55円、5円なら275円、10円なら550円上昇する計算で、円安妙味は大きい。

『財政の崖』問題の影響が気になるが、金ETF(上場投信)の残高は増え、中国とインドの需要もサポート要因。年末年始にかけて、金が突っ込むような場面があれば、積極的に買い拾って良い局面といえる。

市場が注目すると思われるのは、市場規制問題である。すでに規制が発動されており、人気に影響を与えそうだが、今後、規制が強化されるようであれば、市況が冷やされる恐れがある。

85〜90ドルでの揉合が見込まれる。